

「わが村は美しく－北海道」運動 コンクール募集開始

～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を募集します～

北海道開発局では、北海道内の農山漁村において、地域の活性化に貢献する住民主体の活動を支援し、農山漁村の発展に寄与することを目的に「わが村は美しく－北海道」運動（以下「わが村運動」）を推進しています。

この度「わが村運動」の一環として、農山漁村地域の活性化に貢献する活動を表彰する「わが村運動」コンクールを開催し、下記のとおり応募チームを募集します。

このコンクールは、平成13年から2年ごとに開催し、今年で12回目となります。

記

【募集期間】 令和8年1月28日（水）から令和8年5月29日（金）まで

【募集対象】 北海道の農山漁村において、農林水産業の生産活動との関わりがあり、地域住民が主体となって、複数の団体が連携しチームで地域づくりに取り組む活動を対象とします。応募用紙は以下の北海道開発局ホームページからダウンロードください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/splaat000001mdfu.html



応募に係る詳細については、北海道開発局ホームページ及び別紙1～2をご確認ください。ご不明な点については、別紙3に記載の北海道開発局農業水産部農業振興課または各チームが活動する地域の開発建設部土地改良情報対策官までお問い合わせください。

<添付資料>

- 別紙1 : コンクール募集広告
- 別紙2 : コンクール応募要領
- 別紙3 : コンクールの流れ（予定）、応募先・お問合せ先
- 参考1 : 「わが村は美しく－北海道」運動の概要とこれまでの取組
- 参考2 : 第11回コンクールの受賞団体

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

農業水産部 農業振興課 課長補佐 千葉 清人（内線 5683）
農業水産部 農業振興課 農村地域振興第2係長 田場 一矢（内線 5685）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



「わが村は美しくー

北海道」運動

第12回コンクール

第11回コンクール

大賞

にじいろファーム

第11回コンクール

大賞

 美国・美しい海づくり協議会
/余別・海HUGくみだい

応募チーム募集！！

応募締切 令和8年5月29日（金）

写真(背景): (一社)北海道土地改良設計技術協会主催「北の農村フォトコンテスト」応募作品
 写真提供(大賞団体): にじいろファーム、美国・美しい海づくり協議会/余別・海HUGくみだい

1. 目的 このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見出し、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目指します。
2. 募集対象 北海道の農山漁村において、農林水産業の生産活動との関わりがあり、地域住民が主体となって、複数の団体が連携しチームで地域づくりに取り組む活動を対象とします。

【共催】北海道、NPO法人わが村は美しくー北海道ネットワーク

【後援】北海道総合通信局、北海道財務局、北海道農政事務所、北海道森林管理局、北海道経済産業局、北海道運輸局、北海道市長会、北海道町村会、北海道土地改良事業団体連合会、北海道農業協同組合中央会、北海道漁業協同組合連合会、北海道森林組合連合会、北海道経済連合会、北海道商工会連合会、北海道日本型直接支払推進協議会、北海道漁港漁場協会、北海道木材産業協同連合会、(公財)北海道地域活動振興協会、(公社)北海道観光振興機構、(公社)北海道栽培漁業振興公社、(一財)都市農山漁村交流活性化機構、(一財)HAL財団、(一社)北海道商工会議所連合会、(一社)北海道消費者協会、(一社)北海道土地改良設計技術協会、(一社)シーニックバイウェイ支援センター、(一社)日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会、NPO法人「日本で最も美しい村」連合、オーライ！ニッポン会議、学校法人北海道科学大学、北海道旅客鉄道(株)、(株)北洋銀行、(株)AIRDO、生活協同組合コープさっぽろ、朝日新聞北海道支社、毎日新聞北海道支社、読売新聞北海道支社、北海道新聞社、十勝毎日新聞社、日本農業新聞北海道支所、NHK札幌放送局、HBC北海道放送、STV札幌テレビ放送、HTB北海道テレビ放送、UHB北海道文化放送、TVHテレビ北海道

コンクールの詳細は
こちらのQRコードから



『わが村は美しくー北海道』フェイスブック

運動担当
フェイスブックは
こちらのQRコードから→



あしたを創る 北の知恵

北海道開発局

■お問い合わせ先

北海道開発局農業水産部農業振興課
〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎
TEL 011-700-6768 FAX 011-709-2145
E-mail hkcd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp



【「わが村は美しくー北海道」運動 第 12 回コンクール 応募要領】

コンクールの趣旨

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見出し、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目指します。

募集対象

北海道の農山漁村において、農林水産業の生産活動との関わりを持ち、地域住民が主体となって、次に示す要素のいずれかを含んで地域活性化に取り組む活動を対象とします。

- ・ **景観**：生産と生活に根ざした景観の形成
- ・ **地域特産物**：地域で生産される農林水産物を活かした特産物づくり
- ・ **人の交流**：地域内交流の活発化や都市住民等地域外との交流

「活動の参考例」

- 地域をあげて景観緑肥による土づくりに取り組むことによって、安全・安心な農作物を生産し、特産品化に繋げている。
- 就労継続支援事業所などから、精神・知的障がいを持つ利用者を施設外就労として受け入れ、作物生産や加工品の製造・販売を通年で行っている。
- 間伐材を利用した製品の製造、販売を行いながら、地域の森林資源を守り地元の雇用も創出している。
- 地域の景観を形成している地場産の農林水産物を主材料として、生産者と商工会等が共同で新たな商品開発に取り組み、地元の農山漁村景観や農林水産物の良さを発信している。
- 生産活動によって作られる農山漁村景観と農林水産物を結びつけて、消費者や子供達との体験型の交流活動を行い、農林水産業と農山漁村の良さを伝えている。
- 地域の商工会と学校が連携し、生徒自ら生産した農畜産物を用いて、食品の加工製造に取り組むなど、まちの活性化に影響を与えている。

応募資格

募集対象に該当する取組を連携して行っている複数（2つ以上）の団体で構成するチームを対象とします。チームの構成は以下の条件を満たす必要があります。

- ① 団体には、任意団体、NPO法人、協同組合、商工会・商工会議所、学校、企業等を含みます。ただし、家族経営の法人及び個人事業主の企業は、団体として扱いません。
- ② 一過性の取組のみを行っている活動は除きます。
- ③ 地方公共団体が主となるチームは除きます。
- ④ チームの活動範囲が複数の市町村にまたがる場合も対象とします。

※なお、次のような団体を含むチームの応募は認められません。

1. 暴力団そのもの又は暴力団やその統制下にある団体。
2. 宗教活動や政治活動を主な目的とする団体。
3. 特定の公職の候補者や政党を推薦し、支持、またはこれらを反対することを目的とする団体。
4. その他、公序良俗に反する団体。

賞について

金賞 先導性、モデル性の高い活動を選考。

銀賞 優秀な活動を選考。

銅賞 将来性や継続性が期待される活動を選考。

審査基準

次の審査項目に基づき「景観」、「地域特産物」、「人の交流」の3つの要素との関わりを含め、総合的に評価します。

- ① 農林水産業の生産活動との関係性
- ② 目的及び理念
- ③ 継続性・持続性
- ④ 地域住民の理解の度合い
- ⑤ 個性・独創性
- ⑥ 地域活性化への効果

審査方法

- 学識経験者等で構成する「審査委員会」が、応募用紙の記載内容や応募チーム代表者等とのオンライン面談による聞き取り調査を踏まえて、審査・選考を行います。

応募方法及び応募先・募集期間

応募用紙に必要な事項を記入（入力）し、北海道開発局ホームページからのご応募か、応募チームの所在地を管轄する各開発建設部土地改良情報対策官に送付又は持参にてご応募ください。応募用紙は北海道開発局のホームページから入手できます。

詳しくは北海道開発局のホームページまたは各開発建設部土地改良情報対策官にお問合せください。

コンクールの詳細はこちらのQRコードから

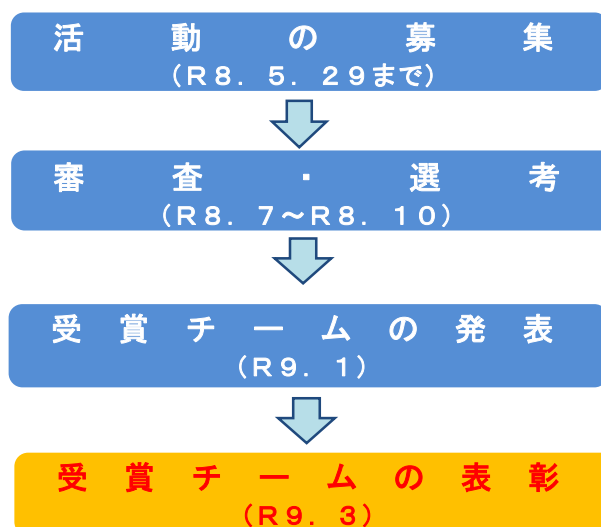


- 募集期間：令和8年1月28日（水）から令和8年5月29日（金）まで

留意事項

- 応募用紙及び添付写真等については返却できませんのであらかじめご了承ください。
- 応募用紙の記載事項・添付写真等については、本運動の幅広いPRのための印刷物、ホームページ等への掲載及びSNSへの投稿に使用することを予定していますので、あらかじめご了承ください。
- 審査委員と応募チーム代表者等とのオンライン面談の所要時間は概ね1時間以内を予定していますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
- 審査委員会の日程については事前に連絡いたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
- 審査に当たり応募資料に虚偽又は受賞者としてふさわしくない行為があったと認められた場合には、表彰を取り消すことがあります。

第12回コンクールの流れ（予定）



【応募先・お問合せ先】

応募に際してご不明な点は、北海道開発局農業水産部農業振興課又は活動チームの所在地を管轄する開発建設部の窓口までお問合せください。

開 発 建 設 部	住 所	TEL・FAX
札幌開発建設部	〒060-8506 札幌市中央区北2条西19丁目	TEL 011-611-0274
	札幌開発建設部 土地改良情報対策官	FAX 011-611-4232
函館開発建設部	〒040-8501 函館市大川町1番27号	TEL 0138-42-7656
	函館開発建設部 土地改良情報対策官	FAX 0138-41-1141
小樽開発建設部	〒047-8555 小樽市潮見台1丁目15番5号	TEL 0134-23-5127
	小樽開発建設部 土地改良情報対策官	FAX 0134-23-5293
旭川開発建設部	〒078-8513 旭川市宮前1条3丁目3番15号	TEL 0166-32-3449
	旭川開発建設部 土地改良情報対策官	FAX 0166-32-0958
室蘭開発建設部	〒051-8524 室蘭市入江町1番地14	TEL 0143-25-7049
	室蘭開発建設部 土地改良情報対策官	FAX 0143-23-5664
釧路開発建設部	〒085-8551 釧路市幸町10丁目3番地	TEL 0154-24-7407
	釧路開発建設部 土地改良情報対策官	FAX 0154-24-6843
帯広開発建設部	〒080-8585 帯広市西5条南8丁目	TEL 0155-24-3192
	帯広開発建設部 土地改良情報対策官	FAX 0155-24-0743
網走開発建設部	〒093-8544 網走市新町2丁目6番1号	TEL 0152-44-6870
	網走開発建設部 土地改良情報対策官	FAX 0152-44-2871
留萌開発建設部	〒077-8501 留萌市寿町1丁目68番地	TEL 0164-42-2381
	留萌開発建設部 土地改良情報対策官	FAX 0164-43-1779
稚内開発建設部	〒097-8527 稚内市末広5丁目6番1号	TEL 0162-33-1186
	稚内開発建設部 土地改良情報対策官	FAX 0162-33-1046

北海道開発局農業水産部農業振興課

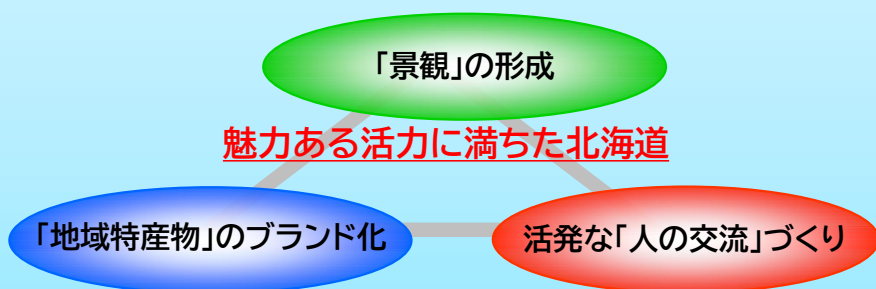
〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎

TEL 011-700-6768 FAX 011-709-2145 E-mail hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp



「わが村は美しく-北海道」運動の概要とこれまでの取組

- 「わが村は美しく-北海道」運動(以下「わが村運動」)は、北海道の農山漁村が持つ、かけがえのない地域の資源(景観・地域特産物・人の交流)を守り、次の世代に引き継ぎ、そこに住む人々が誇りを持てる北海道の「わが村」の未来を創っていき、との思いから生まれました。
- 平成13年度から今日まで、コンクールの開催を中心に、道内各地における地域資源を活用した住民活動に光を当て全国に発信するなど、様々な方法により支援を続けています。



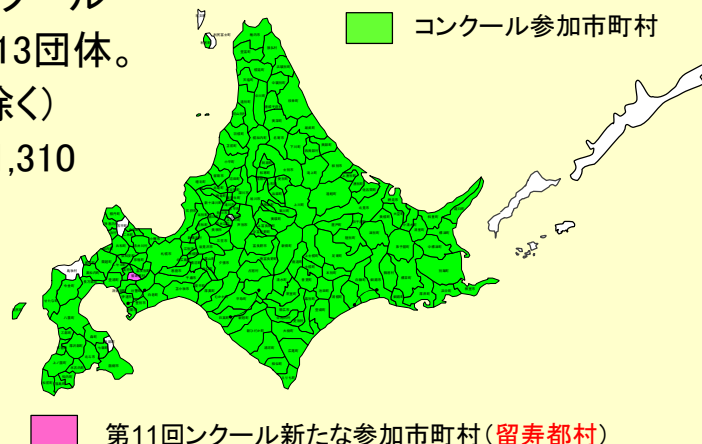
コンクールの概要

○ 第11回コンクールでは63団体が応募。新たに1町からの応募が加わり、全道179のうち173市町村(97%)が参加。

○ これまでのコンクール参加団体数は、913団体。

(複数回応募を除く)

延べ応募数は、1,310団体。



多くの人に伝えるための取組

各種情報発信

● ホームページへの掲載及び「The JR Hokkaido デジタル版」関連サイトへの掲載

→ 活動団体の最新情報を広く発信

● メールマガジンの配信

→ 活動団体への情報提供

→ 活動団体の最新情報を発信

● 地域イベントやパネル展等による活動PR

→ パネル展と併せて参加団体による地域特産品販売会を実施

● Facebook(フェイスブック)の取組

→ 活動団体の最新情報を広く発信。



「The JR Hokkaido デジタル版」関連サイト



チカホでのPR活動

フェイスブックは右のQRコードからご覧頂けます。



第11回コンクール受賞団体

大賞（北海道開発局長表彰）

にじいろファーム【七飯町】



家庭菜園をきっかけに農業に魅力を感じ、令和2年に新規就農しました。地元の会員農家30軒と協力して野菜のほか、山菜、果物など約150種類を販売する直売所を運営しています。

また、次世代の若者達に農業のすばらしさ、楽しさを伝えるため、修学旅行生の農業体験や、地元中学生の職場体験も実施しています。

美国・美しい海づくり協議会 ／余別・海HUGくみたい【積丹町】



積丹町の特産品であるウニの安定生産のため、ウニの餌となるホソメコンブの藻場再生に取り組んでいます。ウニ殻を施肥材として利用することで藻場が再生され、ウニの生産量と品質が向上するなど、ウニと藻場の循環型再生産を実践しています。

また、漁業と海洋環境保全の理解増進のため、小学生の体験学習や市民を対象としたセミナーを行っています。

大賞審査委員特別賞（大賞審査委員表彰）

特定非営利活動法人 山のない北村の輝き 【岩見沢市】



「北村地区に何かを残したい」、「子どもたちが帰ってきたいと思えるような故郷にしたい」との思いから活動を行っています。

河川環境の維持や植樹活動のほか、農泊やキャンプを通じた農作業体験、カヌー体験など地域内外での交流を図っています。



ピロロツーリズム推進協議会 【広尾町】



広尾町を訪問した全ての人に「人とのつながり」を持ち帰ってもらうことを理念としています。多様な一次産業と農山漁村空間が織りなす景観を活用した体験型観光や、地域資源の海産物を使った商品開発などを通じて、みんなが広尾町に来たくなるきっかけづくりをしています。

